

「失敗OK」が社風に 県内 立川のメーカー見学

21人



女性活躍見学バスツアーで、営業部門の説明を受ける参加者ら＝27日、東京都立川市「メトロール」本社

埼玉版 ウーマノミクス

女性活躍推進

女性活躍に取り組む先進企業を見学するバスツアーが27日行われ、東京都立川市の製造メーカー「メトロール」(松橋卓司代表取締役社長)を訪問。県内の14企業・団体から管理職や女性従業員ら計21人が参加した。県が進める女性活躍推進業務の一環。

工作機械などに組み込む精密位置決めスイッチを製造する同社は、社員やパートを含めた従業員一人一人の能力を開放するマネージメントで業績を伸ばしてきており、2014年度の経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」を受賞。「失敗OK」という社風がチャレンジ精神を育み、従業員満足度を高めていることが大きな要因の一つ

だ。松橋社長は「チャレンジしないことには評価できない」と、命令やノルマではなく従業員の精神的自立心の向上を促している。

ツアーでは松橋社長の講演、本社・工場の見学、質疑応答が行われた。製造現場の従業員らが提案する「気づき」改善シートは、翌日に幹部が決済し周知するなど、働きやすい職場づくりの実践策として根付いている。また、必要経費の決済などを社員に任せることでビジネスチャンスを広げているという。日新化成本社製造部仕上検査課の前田享美さん(45)は「お金を生まな間接部門がないのがポイント。社長と従業員との距離が近いと感じた」と話していた。次回の女性活躍先進企業見学バスツアーは、10月20日に上尾市の酒蔵メーカー「文楽」を訪問する。参加、問い合わせは、埼玉新聞社クロスメディア局(☎048・795・9933)へ。(高橋功)